ぜんせき THE ZENSEKI

第7837号　月・水・金発行（祝日除く）　組合員 月1,728円 組合員外 月1,944円（消費税込）

7月6日（金曜日）　2018年（平成30年）

発行所 全国石油商業組合連合会
東京都千代田区永田町2-17-14
電話 03-3593-5751
http://www.zensekiren.or.jp

昭和38年7月1日第3種郵便物認可 振替口座00130-4-52707

ぜんせきweb版　登録受付け中！
新規のご登録の手続きは
下記ウェブサイトでできます
http://zensekiweb.com

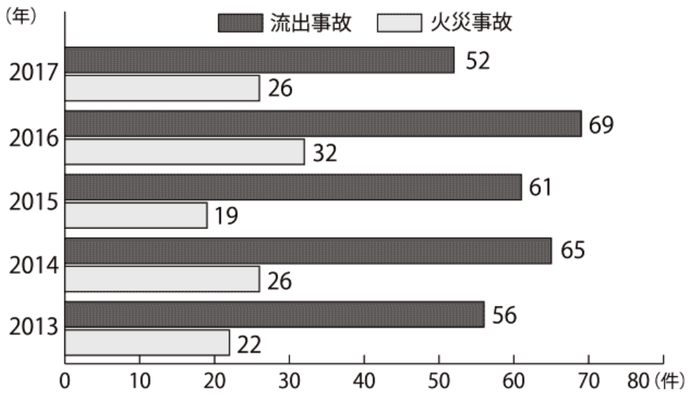
事故5年間で最少も…

リスクは高止まり

17年給油取扱所 火災・流出件数 防止対策強化急務

消防庁

過去５年間の給油取扱所（ＳＳを含む）の火災・流出事故件数



消防庁はこのほど、2017年中（1～12月）に発生した危険物事故状況をまとめた。SSを含む給油取扱所での火災事故は前年比べ6件減の26件となった。流出事故（油漏洩など）も17件減の52件に減少し、過去5年で最も少なかった。火災・流出事故とも前年を下回ったものの、製造所別のランキングでともに3位、4位に入るなど、事故発生リスクは依然高止まりしている。事故発生のリスクをさらに引き下げるための日常点検の励行や安全管理を担う人材育成の強化など、各SSでの事故防止対策の強化・拡充が重要になっている。

火災事故の内訳をみると、一般取扱所が15件で最も多く、次いで製造所が38件、給油取扱所が26件の順となった。最近5年間でもこの3施設が上位を占めている。給油取扱所は、SSの廃業・撤退などその数が年々減少しているものの、不特定多数の人が出入りしたり、老朽化などが進んでいるため、依然として事故発生の危険性が高いことが浮き彫りとなった。1件あたりの損害額は前年の25万円から130万円へと5倍強に増加。火災は一歩間違えば大事故につながるだけに事故防止・安全管理の徹底が求められる。死者は0人だが、負傷者は4人となった。

発生原因を見ると、「類焼」が8件と最も多かったが、「維持管理不十分（4件）」、「誤操作（2件）」、「操作確認不十分（2件）」など人的要因が9件と、全体の3割強を占めた。

一方、油漏洩などを含む流出事故では、一般取扱所が82件で最も多く、次いで屋外タンク貯蔵所が77件、移動タンク貯蔵所（石油製品などのタンクローリーを含む）が72件、給油取扱所が52件の順となった。

給油取扱所1件あたりの損害額は前年の56万円から162万円と3倍弱にまで膨らみ、負傷者も5人となった。

移動タンク貯蔵所の流出事故は、15件増の72件となった。このうち重大事故が21件と全体の約3割を占めた。1件あたりの損害額も前年とほぼ同じ123万円（前年126万円）、負傷者数も13人となった。

発生原因を見ると、給油取扱所では「誤操作（9件）」、「監視不十分（7件）」、「維持管理不十分（4件）」、「操作確認不十分（4件）」など人的要因が24件にのぼった。また「腐食疲労等劣化」も13件と、物的要因も依然高水準で推移している。

移動タンク貯蔵所では交通事故が24件、「操作確認不十分」が12件、「操作未実施」が8件、「監視不十分」が5件など、人的要因も31件確認された。

給油取扱所の流出事故については、経年地下タンクの漏洩防止対策を義務付ける消防法改正省令が11年2月1日に施行したことに加え、FRP内面ライニングなどの地下タンクの漏洩防止対策に対する国の支援制度などもあって、ハード面での漏洩防止対策は進みつつあるが、人的要因による事故防止に向けた人材育成の重要性が高まっている。

このほか、危険物施設全体で火災や危険物の流出を伴わない破損（自然災害を含む）や交通事故といった事故が193件（前年179件）発生しているが、そのうち給油取扱所が155件と全体の8割を占めるなど圧倒的に多くなっている。

なお、給油取扱所数は17年3月31日現在で3万343ヵ所。前年比832ヵ所減となった。このうちSS数は3万1467ヵ所で、全給油取扱所のうち52%がSSとなっている。

エネ庁
SSの将来像を提言

燃料インフラ研が報告書

資源エネルギー庁は5日、石油製品の安定供給確保に向け、SSの〝次世代化〟や〝稼ぐ力〟を検討した『次世代燃料供給インフラ研究会』の報告書を取りまとめた（一部既報）。内需減に加え、過疎化や人手不足など、SS経営に重くのしかかる課題の克服やエネルギー情勢・産業構造変化に対応した持続可能なエネルギー供給インフラの4つの将来ビジョンを提示。その実現に向けて、安全確保を前提とした保安規制の見直しの必要性などを提言した。

報告書は、SSが目指すべき4つの将来ビジョンを提示。①流通・物流、生活・行政サービス、防災・エネルギーなど様々な機能を融合した『地域のサービス拠点化』②配送機能強化・IoT（すべてのモノがインターネットでつながる）の活用③カーシェア、レンタカーなどモビリティサービスとの機能融合④SS過疎地などで簡素な設備による低コストでの燃料供給拠点を確保し、地域の燃料供給インフラ機能を維持していく―というもの。

この4つのビジョンの実現を後押ししていくため、地域の連携体制の構築や保安規制の見直し、規制見直しに向けた実証などを提言。今後3年間程度で規制見直しと必要な実証を集中的に実施すべきとした。

次号（9日付）休刊

論説

〝つながるクルマ〟の影響力

「クルマには走る、曲がる、止まるに加えて〝つながる〟という新たな性能が求められている」。豊田章男トヨタ社長は先週、「コネクティッドカー」の本格展開を開始すると高らかに宣言した。今後発売するほぼすべての乗用車に車載通信機などを搭載し、車両データ等を活用した様々なサービスを提供する。

近年、カーディーラーはメンテナンスパック加入を積極推奨してきた。新車市場が飽和状態化した中、その需要が2割減っても店舗を維持できる経営体質への転換などと標榜し、メンテや各種商品・サービスによる収益増に重点を移している。国内外メーカーが提供中のパックプランをみると、3年間、4年半、5年、最長7年などと多様で、一部の高級車ブランドは3年間無料だが、垣間見えるのは車検前の買い替えに結びつけたいという思惑。メーカーの宿命だ。

実際、2回目車検以降はディーラー離れが進んでいる様子もうかがえる。ところが、乗用車の平均車齢は登録車8・5年、軽4輪8・4年。平均使用年数は登録車12・9年、軽4輪14・6年。「新車から廃車まで」の車検回数は、登録車が6回、軽4輪が7回弱を数え、付け入る隙はある。

カーライフ拠点として考えた場合、立寄り頻度は「給油」機会を持つSSがカーディーラーに勝り、対面でのPRチャンスは圧倒的に多いが、コネクティッドカーは新たな局面をもたらす。車両データの解析によって、クルマの調子が悪ければオペレーターが車載マイクとスピーカーからディーラー入庫を促したり、不調が起きる前に販売店スタッフが整備入庫を勧める。トヨタ系ディーラーは約5千店。コネクティッドカーを何年先までフォローしていくのかにもよるが、2回目の車検以降で途切れやすい関係性が大きく変わる可能性もある。また、走行データに連動して割引となる自動車保険も登場した。さらに、LINEにマイカーアカウントを追加すれば、目的地までの距離を踏まえて「給油の必要性」なども教えてくれる。

1996年当時から、豊田現社長は〝カイゼン〟活動の一環として「もっとお客様との接点がほしい」と口癖のように繰り返していたそうだ。消費者にたびたび直結できる場は、希少な存在。店頭や配達を通じた我々の最大の強みを活かす必要性が一層高まっている。

石連週報 6月5週
ガソリン出荷不振

石連週報による6月前半の販売量は、前年比5・7%減の86・4万㌔㍑、7週連続で前年実績を割った。過去5年平均比でも10・2減となり、11週連続の不振、夏場商戦が迫る中、深刻な状況が続いている。

ガソリン生産量は前週比2・5%減の86・2万㌔㍑に低下し、7週連続で100万㌔㍑台を割り込んだ。在庫は前週比4%減、前年比11・7%減の160・7万㌔㍑に取り崩され、16週連続にわたり低水準。

軽油出荷量は前週比4・3%減、前年比2・3%減の59・2万㌔㍑で不調。在庫は前週比5・3%減、前年比6%減の141・6万㌔㍑で余剰は解消。灯油出荷量は前週比14・9%減、前年比37・8減の8・5万㌔㍑。在庫は前週比1・2%増、前年比0・7%減の154万㌔㍑で低水準に転じた。（2面にDATA）

6月上旬CIF 5万円台乗せる
財務省

財務省が6月28日発表した6月上旬原油CIF価格は、ドル建てが前月比5・58ドル高の74・34ドルとなった。円建ては原油価格が上昇したほか、為替がドル110・12円と円安で推移したため4906円高のキロリットル5万1493円と2ヵ月連続で前月を上回り、2015年6月中旬（5万196円）以来、約3年ぶりに5万円台に乗った。

今週のガソリン小売市況概況（7月1週）

	全体概況	ベンチマーク 前週	ベンチマーク 当週	備考 ※斜字はフル
北海道	⇗	￥152	￥152	*札幌市・地場・系列*
北東北	⇒	￥151	￥151	秋田市・広域・系列
南東北	⇘	￥146	￥146	*仙台市・広域・系列*
信越	⇗	￥148	￥148	新潟市・地場・系列
北関東	⇘	￥139	￥139	宇都宮市・異業種・PB
首都圏	⇗	￥139	￥139	印西市・異業種・PB
山静	⇗	￥150	￥150	*静岡市・広域・系列*
東海	⇘	￥143	￥143	鈴鹿市・広域・系列
北陸	⇘	￥137	￥137	福井市・地場・系列
京阪	⇘	￥149	￥149	大東市・子会社・系列
阪神	⇗	￥151	￥151	神戸市・地場・系列
山陽	⇘	￥151	￥147	岡山市・地場・系列
山陰	⇘	￥150	￥150	*米子市・地場・系列*
四国	⇗	￥154	￥154	*高松市・地場・系列*
九州北	⇒	￥153	￥153	*福岡市・地場・系列*
九州中	⇘	￥147	￥147	熊本市・広域・PB
九州南	⇘	￥150	￥150	宮崎市・地場・PB

⇑0.5円超上昇、⇗小幅上昇、⇒横ばい、⇘小幅下落、⇓0.5円超下落

JXTG出光・昭シ
全油種2円上げ

特約店筋によると、JXTGは前週比で5日からの基準仕切価格を全油種で2円の値上げすると通知した。全油種とも6週ぶりに大幅値上げに転じたことになる。

一方、出光も5日から週決め仕切価格を全油種いずれも2円値上げした。さらに昭シェルも5日からの週決め仕切りを全油種2円の値上げした。出光、昭シェルの両社も値上げに踏み切ったのは全油種ともに6週ぶりとなる。

レギュラー小売 前週比0.1円下落
エネ週市況

資源エネルギー庁による小売価格調査（2日・消費税込み）レギュラー全国平均は前週比0・1円安の151・8円と、2週連続で値下がりとなった。地域別では、0・9円高の沖縄、0・4円高の東京、神奈川、愛媛、0・2円高の北海道、静岡、富山、佐賀など18都道府県で値上がり。0・8円安の山口、0・7円安の宮城、0・6円安の愛知など22県で値下がりし、7府県で横ばいとなった。

ハイオクは0・1円安の162・6円。軽油は130・3円と横ばい。灯油は18ℓ店頭、配達ともに横ばいの1668円、1814円。（2面に県別データと「今週の地域市況」概況）

経営実態調査 回答者へ配慮
石油協会

全国石油協会は3日、調査統計委員会（遠藤靖彦委員長）を開き、今年度石油製品販売業経営実態調査の実施要領と調査票の内容について協議した。この結果、調査票の回収率向上を目指し、方策を検討するとともに、仕入れについてなどの設問項目もわかりやすくしていくことを決めた。また、回答者には報告書を送付する際、謝意を表すため洗車タオル1ダース程度を同封することとした。

遠藤委員長（写真）は「課題について各委員の意見を聞きながら円滑に進めていきたい」と所信を述べた。

議事では委員から「経営実態調査の対象は1SS事業者が多い。その点を考慮していくことも必要」「全国理事長会で調査への協力をアピールすべき」など、調査票回収率の向上に建設的な意見が相次いだ。調査票の設問項目についても「仕入れへの質問は仕切りが週決め制度のもとではより丁寧に説明する必要がある」などの意見もあり、委員の意見を反映させ、より記入しやすくすることとした。

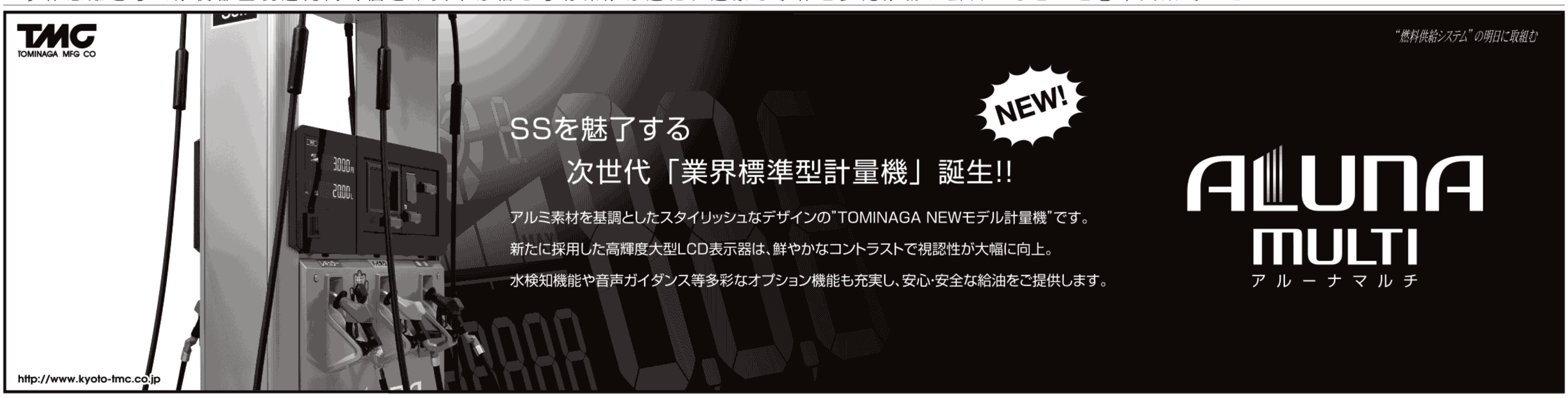
川崎、鹿島定修 今月上旬に終了
JXTGエネ

JXTGエネルギーはこのほど、今月における製油所の定期修理状況について明らかにした。それによると、5月から定修に入った川崎製油所（常圧蒸留装置能力：日量17万㍗）と鹿島製油所（同16・2万㍗）が予定の6月末で終了せず、翌月上旬まで定修がずれ込んでいる格好。また、新たに定修を行う製油所はなし。なお、大分製油所（同13・6万㍗）は予定通り6月30日で定修を完了している。

ポンプあいらんど

▼ベストセラーとなった河合雅司氏著「未来の年表 人口減少日本でこれから起きること」（講談社現代新書）の続編、「未来の年表2 人口減少日本であなたに起きること」（同）を読んだ。前作で河合氏は、少子高齢化社会にあって、時系列でいつなにが起きるかを俯瞰し、政府や自治体がすべきことを提言したが、今作では人口減少で個々人の身近なところで起きる変化を具体的に切り出した▼少子高齢化によって〝あなた〟の「住まい」や「家族」、「会社」などで起きる出来事を詳細なデータや氏の知見を基に予測。「暮らし」に起きることの3つ目には「ガソリンスタンドが消え、『灯油難民』が凍え死ぬ」と予見しており、SS過疎地問題の深刻さを指摘している▼「SSは自動車に給油するだけの場所ではない。暖房用の灯油や農業用機械の燃料を買いに来る人もいる。冷寒地でSSが身近なところに無くなり、灯油が簡単に入手できなくなれば、独り暮らし高齢者はひっそりと凍え死にかねない」と問題視。〝灯油難民〟の出現はSS再編の影響で空白エリアができた大都市や中堅都市でも「例外ではない」と投げかける▼「SSの消滅は、やがてその地域全体の衰退を招くだろう」と警告。「SSが立地困難な場所の広がりは、思わぬ形で日本社会全体に深刻な影響を及ぼす大問題」と断言する。

きょうの紙面
2面　新理事長に聞く③
■DATAコーナー＝原油価格、石油製品先物情報、週動向調査、石連週報
3面　東北版・岩手・低迷続く二戸地区／関東版・埼玉・NW21総会
4面　近畿版・夏商戦に募る不安／トレンドファイル



株式会社富永製作所　〒604-8493 京都市中京区西ノ京南両町88　営業本部 ☎(075)801-8139代表 FAX(075)801-1373
仙台営業所 ☎(022)287-9311 FAX(022)287-9312　東京支店 ☎(03)3484-5051 FAX(03)3484-3944
名古屋支店 ☎(052)414-1181 FAX(052)414-1180　関西支店 ☎(0774)41-3443 FAX(0774)41-3444
広島支店 ☎(082)283-2428 FAX(082)283-2606　高松支店 ☎(087)843-7130 FAX(087)843-9139
福岡支店 ☎(092)651-3168 FAX(092)651-3118　事業所・代理店／全国主要39都市

新理事長に聞く 3

芝野桂太郎前理事長が勇退し、その路線を継承する尾賀康裕理事長（尾賀亀社長・ＪＸＴＧ系）。約半世紀もの長期にわたり理事長職を務めた前理事長に敬意を表すとともに、石油販売業界のＰＲ活動強化や共同事業活用などをさらに活性化させる方針を示しつつ、次世代の青年部組織・近江未来会に期待を寄せる。県内ではＳＳ建設が濃厚なコストコ問題を含め、抱負などを聞いた。

滋賀 尾賀 康裕 氏

メリットのある組織活動を推進

――理事長職就任の抱負を。

芝野前理事長の路線を承継していく方針だ。ＤＮＡを受け継いで、うまく時代の流れに合わせて進化させていく。芝野前理事長の歴史は滋賀石商・協そのものの歴史でもあり、長くやってこられたのは個人としての能力もあるが、人柄もあって批判や不協和音は全くと言っていいほどなく、当時副理事長だった私を含めて執行部は一致団結していた。一方で昨年には若手の組織である近江未来会が発足している。私の役割は路線を承継しつつ次世代に託していくこと。ただ無責任に若手に押しつけるのではなく、理事長職を務めている間は不協和音が出ないよう責任をもって運営する。

――県内の市場問題について。

コストコ進出が大きく騒がれているが、県油政連（竹村健会長）や全石連、全国油政連と連携して、国や自治体など関係行政機関だけでなく、自民党滋賀県連にも積極的に働きかけていく方針だ。

――組織活動について。

ＳＳ業界は軽油引取税を収めて貢献しているだけでなく、災害協定を締結し有事の備えとして協力している。組合は単なる県の経済組織の一員ではないことを強くＰＲしていく必要性を感じている。また、支部の活動強化も必要だ。地域の中心選手が不在で、ほぼ開店休業状態の支部があるようなので、テコ入れしていかなければならない。支部長にはもっと会合の出席を促してコミュニケーションを深めたい。ＳＳだけでなく全国の中小企業最大の問題である後継者不足も考えていく必要があるだろう。一方、ＳＳ数が減少し県内でもＳＳ過疎地が急増する恐れがある。公営ＳＳは増えていくだろう。第3セクター方式ではなく、運営委託方式が望ましいと思う。自治体には運営ノウハウがないので、当石商として可能な限り相談には応じていく方針だ。財政面では共同事業の活用を促したい。独自に新電力事業に取り組んでおり、ＳＳの節電になるのでもっと利用してほしい。

――組合員へのメッセージを。

総会を通じて組織活動には十分に理解を得られていると思う。組合員にとって身近であり、加入してメリットを感じられる組合組織を目指している。もっと建設的な意見や要望を上げてほしい。

燃料電池シンポ 約500人が参加

燃料電池開発情報センター

燃料電池開発情報センターは先ごろ2日間にわたり、東京都や新エネルギー・産業技術総合開発機構が後援する第25回燃料電池シンポジウムを開催し、同団体の会員を中心に約500人が参加した。

シンポジウムではモーターリーナリストの清水和夫氏が「ＦＣＶの期待とＥＶの課題」と題して特別講演。清水氏は「テクノロジーだけが先行しても、いずれ行き詰ってしまう。ＦＣＶとＥＶが手を取り合い、新たな価値を創造することが重要だ」とする一方で、「重い税金を納める必要があるのはガソリン車の人のみ。同じ道路を走っているのに、これでは理不尽だ」と、不公平な課税制度について問題視した。

近畿2府4県で抜取調査 約2％に混和嫌疑

油軽月正強間油化

不正軽油撲滅を目的に近畿2府4県（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）が6月に実施した「路上軽油抜取調査強化月間」の実施結果（速報値）がまとまった。

近畿2府4県は毎年、環境月間である6月を「強化月間」と定めており、主要幹線道路沿いで軽油の路上抜き取り調査を実施している。今回は19ヵ所での実施となったが、当初の予定では23ヵ所を想定していた。

近畿２府４県・路上軽油抜取調査強化月間実施結果（速報値）

府県名	実施箇所数（予定箇所数）	動員人数	抜取本数	嫌疑本数
滋賀	7（7）	86	192	3
京都	3（4）	71	100	3
大阪	1（2）	14	8	0
奈良	2（2）	48	27	調査中
和歌山	3（4）	18	50	1
兵庫	3（4）	32	50	3

滋賀と奈良以外は、雨天や大阪北部地震による影響で調査日程の一部を中止した。

また、総勢269人を動員したが、地域により税務課と府県警察の連携だけでなく、他府県や市町村との合同調査や環境関係部局による産業廃棄物運搬車両の広域路上検問などを併せて実施したところもあった。抜き取り本数は計427本で、特に多いのは滋賀の192本、このうち県外の車両からの調査は95本と全体の半分近くを占めており、近畿圏以外に岐阜や愛知、福井からのトラックを調査した。

奈良以外で採取した燃料の性状分析を行った結果、混和の嫌疑があったのは10本と全体の約2％。今後は各府県とも流通経路などを追跡調査し、不正軽油の取り締まりを徹底していく方針だ。

今年もトライアル大会へ 冠協賛

出光興産は3日、「本物のトライアルスピリットを次世代へ」をコンセプトとする「第42回出光イーハトーブトライアル大会」に冠協賛すると発表した。

同大会は1977年から開催され、岩手県の雄大な自然を舞台に、自然と調和したモータースポーツの魅力を味わえるツーリングトライアル。第42回大会は8月25～26日に開催。「本物の提供」と「次世代の育成」をテーマに、過去の開催で好評だった「親子バイクの教室」「子どもアドベンチャートライアルスクール」の参加人数を増加。同スクールではプロライダーがインストラクターを務め、次世代を担う子どもたちに、モータースポーツの魅力を伝えていく。

本大会に先立ち6月24日には宮城県・スポーツランドＳＵＧＯで「プレイハトーブ」が開催された。

10月から1千SSで楽天ポイント付与 コスモM

コスモ石油マーケティングは、楽天の運営する共通ポイントサービス「楽天ポイントカード」で楽天と提携する。10月（予定）から、全国の系列ＳＳ約1千ヵ所で同カードが順次利用可能になる。対象ＳＳでガソリン、軽油、灯油を購入した際に同カードを提示すると、給油1㍑につき「楽天スーパーポイント」1ポイント貯まる。当面は現金での支払いのみを対象とするが、将来的には全支払方法をポイント付与対象に拡大する予定だ。

大勢堅調も弱含み

◎北海道…札幌はセルフ151円程度、フル152～4円、安値量販セルフ149・8円表示で6月第1週以降変化なし。旭川は安値量販グループが140・8～141・8円、セルフ143～150円、フル151～4円表示に軟化。函館も軟化してアサヒ商会140・8円、モダなど142・8円、セルフ145円程度、フル148～150円表示となっている。

◎東北…セルフ価格を見ると、仙台市は145～151円で変わらず。盛岡市はやや軟化し141～3円。秋田市は146～8円、福島市は156円前後中心、山形市は137～155円でいずれも変わらず。青森市は143～153円で横ばいで推移している。

◎信越…新潟は新潟市内で148円前後中心。上越、長岡市内でセルフ148～150円程度、柏崎148円前後中心。

◎北関東…前橋・高崎はセルフ150円前後中心。栃木は県北セルフ146～9円前後、県央144～9円中心、県南145円前後。茨城は150円前後中心で推移している。

◎首都圏…埼玉はセルフ147円前後中心。千葉は139～147円程度のままほとんど動きなし。

◎山静…静岡市内はセルフ150円以上、県西部148～150円で値下がり傾向、東部150～2円中心で全体的にわずかに軟化。山梨はセルフ会員150円程度で推移。

◎東海…ほぼ横ばい。愛知は価格競争の激しい高速ＩＣ周辺セルフで前週より1～2円下がり142～4円看板が目立ち始めたが、大半は148円前後で推移。常滑もコストコ132円、隣接ＰＢバロンパーク会員130・9円、現金132・9円と5週連続の据え置き。低価格で推移している三重も137～145円で前週並み。150円前後だった岐阜はコストコ羽島の136円に対抗し県西部を中心に軟化傾向が続いている。

◎北陸…ＰＢカナショクとミタニとの激しい価格競争が3県で依然続く。県平均の最安値は福井だが、石川、富山も徐々に軟化の動きを見せ始めている。

◎近畿…横ばい傾向で、阪神方面は149～151円、京阪方面は148～152円。京都は147～153円が中心で、滋賀は149～153円。奈良は奈良市で145～151円だが、橿原方面は系列で140円割れが出現している。和歌山市内は142～152円が中心。

◎中国…セルフ価格は、山口市内は146～8円前後と横ばい。岡山市内も一部地域を除き全般的には147～9円前後と横ばい。鳥取県米子市内でも148～9円前後と横ばいでの推移が続く。

◎四国…セルフ価格は、高松市内で150円前後中心、高知市内は154円前後中心、徳島市内では141～3円前後といずれの地域でも横ばいでの推移が続いている。

◎九州…大きな動きはないが、地域によっては軟化が見られる。福岡市中心部は153円前後で推移、割引価格でも147～9円が多い。熊本県は一般商系は149円前後だが、量販店が147円を表示し始めたため一部で値下げする動きも出ている。

今週のガソリン市況 7月第1週

キューた郎 浜坂高一朗

世界の三大ガソリン計量機メーカー
TATSUNO

DATAコーナー

■石油先物市場・7／4
△値上げ、▲値下げ◇ストップ高、◆ストップ安、単位：￥／ＫＬ

東京商品取引所（京浜海上：１枚＝50ＫＬ）

16：30現在	前日比	限月	16：30現在	前日比
（前日出来高806枚）		ガソリン	（前日出来高11枚）	
65,200	▲280	⑧限月	65,900	▲100
64,640	▲360	⑨限月	65,500	0
64,150	▲400	⑩限月	62,000	0
63,900	▲150	⑪限月	62,000	0
63,250	▲380	⑫限月	61,000	0
62,910	▲390	①限月	62,990	0
（前日出来高315枚）		灯油	（前日出来高-枚）	
68,710	▲320	⑧限月	68,500	0
68,290	▲270	⑨限月	66,000	0
68,140	▲410	⑩限月	69,500	0
68,210	▲400	⑪限月	69,500	0
68,040	▲440	⑫限月	69,000	0
68,030	▲370	①限月	69,000	0
（前日出来高-枚）		軽油		
68,500	0	⑧限月		
68,200	0	⑨限月		
67,900	0	⑩限月		
67,600	0	⑪限月		
67,300	0	⑫限月		
67,000	0	①限月		

原油指標

			前日比
国内指標	＄／Ｂ	74.93	（▲0.63）
	￥／ＫＬ	52,490	（▲712）
ＷＴＩ	＄／Ｂ	74.14	（△0.20）
	￥／ＫＬ	51,936	（▲125）

■ＳＳ店頭市況週動向調査・７／２

レギュラー（単位：￥／Ｌ、↑値上げ、→同値、↓値下げ）

北海道	153.1	↑	静岡	152.8	↑	鳥取	150.8	↓
青森	150.3	↑	山梨	153.1	↑	島根	154.5	↓
岩手	149.7	↓	愛知	149.7	↓	山口	150.7	↓
宮城	149.3	↓	三重	151.5	↓	徳島	144.6	→
福島	153.1	↓	岐阜	152.6	↓	高知	154.1	↑
秋田	150.9	→	富山	151.8	↑	愛媛	154.0	↑
山形	153.1	→	石川	150.0	↓	香川	150.0	↑
新潟	150.2	↑	福井	152.2	↓	福岡	153.3	↓
長野	155.4	↑	滋賀	150.6	↓	大分	156.3	↑
群馬	150.0	↓	京都	154.3	→	佐賀	156.7	↑
栃木	149.7	↓	大阪	151.6	↑	長崎	160.8	↑
茨城	149.1	↑	奈良	150.0	↓	熊本	153.9	↓
千葉	148.4	→	和歌山	151.0	↓	宮崎	152.0	↑
埼玉	147.6	↑	兵庫	151.0	↓	鹿児島	157.4	↑
東京	152.1	↑	岡山	148.1	↓	沖縄	157.8	↑
神奈川	150.0	↑	広島	150.1	↓	全国	151.8	↓

■国内供給統計（石連週報）・６月第５週末　（単位：千ＫＬ、％）

	東日本	西日本	合計	前週比	前月比	前年比
①原油処理量	1,708.0	1,109.8	2,817.8	102.1%	94.3%	85.8%
②製油所稼働率	69.5	76.0	72.0	1.5	▲4.3	▲11.9
③石油製品在庫量						
ガソリン	823.1	784.2	1,607.3	96.0%	86.7%	88.3%
灯油	1,107.8	432.2	1,540.0	101.2%	101.5%	99.3%
軽油	746.6	668.9	1,415.5	94.7%	96.3%	94.0%
Ａ重油	435.0	308.3	743.3	98.7%	95.7%	95.0%
６油種計	4,695.9	3,583.1	8,279.0	97.1%	94.9%	93.4%
④製品出荷量推計						
ガソリン	532.5	331.0	863.5	93.3%	107.3%	94.3%
灯油	49.7	34.8	84.5	85.1%	98.2%	62.2%
軽油	397.2	194.5	591.7	95.7%	95.9%	97.7%
Ａ重油	123.3	72.8	196.1	108.4%	135.5%	118.1%
６油種計	1277.9	784.4	2,062.3	99.8%	108.6%	98.2%

生活、産業、地域を支える 石油の力SSの力 神奈川県川崎市 ▶vol.291◀

地域の安心、消防署と守って

災害対応訓練

SSスタッフが119番通報とともに初期消火を試みるも延焼を防げず、消防車で駆けつけた隊員24人が本番さながらにピックアップ式泡ノズルによる泡放射で消火にあたった。緊張感が漂う中、隊員は真剣な表情で取り組み鎮火させた。見学に来ていた子どもは、見慣れぬ光景に目を丸くしていた。

鎮火に利用した泡が公道に流出するのを回避するため、隊員は泡を放水で希釈し側溝へ導く作業も同時に行った。初山SSは24時間営業のため、訓練中もガソリンを入れる車が頻繁に出入りしたが、スタッフが適切に誘導。目立った混乱もなく営業を続けた。

訓練後、堀内社長は「7年目の今回はタンクローリーから出火という新しい設定だった。安全にエネルギーを供給するという地域住民に対する使命があり、これからも確実に全うしなければならない」と講評。「災害時に現場のスタッフが実際に力を発揮するためには、いかに日ごろの訓練が大切かを肝に銘じることが重要。これからも、さらに安全なSS運営を目指したい」と強調した。

宮前消防署警防第2課の矢作和也課長は「宮前区内で過去にタンクローリーが燃える火災が発生したことがある。1回火がつくと消火には時間がかかり損害も大きい」と指摘。「今回の訓練は実際に火災が起きた時を想定したが、起こさないための予防策に重点を置いて普段の営業をしてほしい。これまで無災害だったのは社員教育の結果。これからも継続していただきたい」と続けた。そのうえで、「いざという時には、今回訓練した経験を生かし、適切な対応をしたい」と述べた。

訓練にはアセント本社から7人、SSスタッフ7人の計14人が参加した。

懸命に消火活動を行う消防隊員

全石連の リサイクルトナーカートリッジ
業界最長クラスの18か月保証　送料無料・不要カートリッジ回収無料
日常業務の必需品であるトナーカートリッジを豊富にご用意。全メーカー取り扱っています。

canon
印字枚数 5,000 枚 @0.98円
EP-32 ￥4,900
印字枚数 2,000 枚 @1.90円
カートリッジ303 ￥3,800
印字枚数 3,500 枚 @1.40円
カートリッジ303（大容量） ￥4,900
印字枚数 12,000 枚 @0.63円
カートリッジ510Ⅱ ￥7,600
印字枚数 9,100 枚 @0.97円
カートリッジ515Ⅱ（30%増量） ￥8,800
印字枚数 6,400 枚 @0.86円
カートリッジ519Ⅱ ￥5,500
印字枚数 8,300 枚 @0.77円
カートリッジ519Ⅱ（30%増量） ￥6,400

RICOH
印字枚数 5,000 枚 @1.08円
IPSiO SP3400H ￥5,400
印字枚数 19,500 枚 @0.40円
IPSiO SP6100H（30%増量） ￥7,800
EPSON
印字枚数 6,000 枚 @0.92円
LPA4ETC8 ￥5,500
OKI
印字枚数 2,500 枚 @1.52円
TNR-M4A ￥3,800
印字枚数 3,000 枚 @1.57円
TNR-M4B ￥4,300
印字枚数 12,000 枚 @0.72円
TNR-M4G2 新登場!! ￥8,600
※価格はすべて税別

ご注文・お問合せは
最寄の石油組合または全石連共同事業グループ ☎03-3593-5841

洗車タオル 大量使いにうれしいお買得価格!!

手のひらサイズR型
●丈夫で長持ち ●吸水性UP
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込） ￥87
サイズ:約34cm×48cm 重さ:180匁（約56g） カラー:白・青・ピンク・黄色 素材:綿100%

マイクロファイバー
●抜群の吸水性 ●すぐれた耐久性 ●クルマにキズがつきにくい
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込） ※但し、沖縄・離島は送料別途 ￥91
サイズ:約30cm×48cm 重さ:約38g カラー:白・青・ピンク・黄色 素材:ポリエステル80%・ナイロン20%

高級マイクロファイバータオル
●ワックスやコーティング仕上げに最適
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込） ￥120
サイズ:約40cm×40cm カラー:白・青・赤・黄 重さ:約61g 素材:ポリエステル80%・ナイロン20%
※ご注文は 60 枚以上、10 枚単位
※60 枚以上は送料込（但し、沖縄・離島は送料別途）

マイクロファイバースクエア
●汚れが目立ちにくい鮮やかな色合い
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込） ￥88
サイズ:約40cm×40cm カラー:青・赤・緑・黄色 重さ:約50ｇ 素材:ポリエステル80%・ナイロン20%
※ご注文は 200 枚以上、100 枚単位
※200 枚以上は送料込（但し、沖縄・離島は送料別途）

ニューカーウォッシュタオル
●強度あり、210匁 ●毛羽が出にくい
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込） ※但し、沖縄・離島は送料別途 ￥92
サイズ:約33cm×48cm 重さ:210匁（約65g） カラー:白・青・ピンク・黄色 素材:綿100%

手のひらサイズ200匁
●手触りバツグンのボリューム感
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込） ￥88
サイズ:約34cm×48cm 重さ:200匁（約62g） カラー:白・青・ピンク・緑・黄色 素材:綿100%

手のひらサイズ140匁
●女性でも絞りやすい ●洗車、窓拭きに最適
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込） ※但し、離島は送料別途 ￥70
サイズ:約34cm×43cm 重さ:140匁（約44g） カラー:白・青・ピンク色 素材:綿100%

※ご注文単位は1色 60 枚。180 枚以上ご注文の場合、送料無料（高級マイクロ・スクエアは除く。）
タオル用液体洗剤 タオルクリーンSS 18Ｑポリ容器 ￥6,850（税別、送料込 但し沖縄離島は別途）
サンプルご希望の方や商品の詳細についてのお問い合わせは、最寄りの組合または全国石油業共済協同組合連合会へ 03-3593-5841

東北支局　（仙台市青葉区二日町9-12 宮城石油会館）
０２２（２２５）１９６７

低迷続く岩手・二戸地区

元売再編の恩恵及ばず…

元売再編で全国的に小売市況が改善する中、岩手県北の二戸市周辺には恩恵が及ばず低迷状態が続く。地元ＰＢと大手ＰＢの廉売競争が続き、フルサービスの地元ＳＳとの価格差はレギュラーガソリンで十数円に及ぶ。遠く離れた盛岡市で市場が混乱した際にも「二戸の影響」とされる中、地元ＳＳは親身なサービスで廉売業者に対抗しようとしている。

廉売ＰＢのセルフ価格（上）と地元ＳＳのフル価格が大幅に乖離する二戸地区の看板（6月14日撮影）

サービスで活路、社員教育が鍵

地元ＳＳのレギュラー151円に対し、廉売競争のＰＢは137円の看板を掲げる。価格差は実に14円。この時期、東北のコストコのレギュラー価格は宮城県富谷市の店が139円、山形県上山市の店が135円。二戸地区の下値はその中間値だった。

「ＰＢの価格ではとてもやっていけない。価格指向の客を奪われるのは覚悟のうえで粗利10円以上を取れる値付けにしている」と地元ＳＳ社長が言う。別のＳＳ社長は「大幅な価格差は長年続いている。従業員には、お客さんにしてもらえるようなサービスを、と伝えている」と話す。この店では価格指向の客は離れ、客が9割を占める。かといって金客がゼロになってはいないサービスに満足し、価格差を受けてくれている客だという。

二戸市では十数年前、大手ＰＢが初のセルフＳＳを開設した。市場が大幅に乱れたのは大震災前、一次産業の会社が閉鎖したＳＳを買って廉売を始めてからだ。この店と大手ＰＢの競争が激化した。参入ＳＳは本業の豊かな収益を支えに薄利多売を続けている。競争が激しいはずの都市部で市場が安定し、過疎地の二戸で競争が続く状況を、地元ＳＳ社長がこう解説する。「都市部で市場が安定したのは、元売販社が再編で安売りできなくなったから。販社のＳＳがもともとなかった田舎だからこそ、元売再編の恩恵を受けられずにいる」。

岩手石商二戸支部の中村一法支部長は「ＰＢの廉売を止めるには安い業転玉の供給を止めるしかなく、施せる対処策はほとんどなくなった。地元ＳＳは油外などのサービス面で経営力を高め、生き残ってほしい」と話す。

地元ＳＳ社長は「人手不足の中、洗車やオイル交換など油外が大きなウエイトを占めており、無駄にガソリン価格を下げて給油客が増えると作業に手が回らなくなる」と微妙な現況を明かしたうえでこう語る。

「油を安く売るのは簡単で、サービスに納得してもらい利を得ることこそ難しい。親身なサービスが生き残りの肝であり、社員教育が一番大事だ」。

10日から石油セミナー開催

石油連盟などの主催で毎年夏に開催される石油セミナーが10日の青森を皮切りに秋田を除く5県で開催される（日程と会場、講師は別表の通り）。

中小企業経営論などが専門で、石油の流通システムにも精通する小嶌正稔東洋大教授は「超情報社会とビジネスモデルの開発」が講演テーマ。中東研究の第一人者で、テレビ番組のコメンテーターとしても知られる高橋和夫放送大教授は、トランプ政権と中東との関係について解き明かす。

イランの政治情勢などに詳しい田中浩一郎慶大教授は「トランプ時代の中東、そして日本」と題して講演。日本経済新聞記者時代にバーレーンに駐在しアジアなどの経済情勢に詳しい後藤康浩亜細亜大教授は「急変するアジア情勢と日本のエネルギー」となった。

2018年度石油セミナー

日時	会場	講師
7月10日	青森市　ホテル青森	小嶌正稔・東洋大教授
11日	盛岡市　ホテルメトロポリタン盛岡NW	高橋和夫・放送大教授
12日	仙台市　仙台国際ホテル	田中浩一郎・慶大教授
19日	郡山市　ホテルハマツ	後藤康浩・亜細亜大教授
20日	山形市　山形グランドホテル	後藤康浩・亜細亜大教授

優勝した小池さん（左）

29人が参加しゴルフコンペ

山形石商（遠藤靖彦理事長）はこのほど、山辺町の山形ゴルフ倶楽部で「第70回親睦ゴルフコンペ」を開催した。29人が参加。競技はダブルペリア方式で行われ、小池忠宏さん（小池商店）がネット70・2で前回に続き優勝した。準優勝は70・6で飯野猛さん（冨士鉱油）、3位は73・0で佐々木秀晃さん（冨士鉱油）だった。

支部事務局を仙台市に移転

全石連、油政連東北支部

全石連東北支部長が前福島理事長の根本一彌氏から宮城理事長の佐藤義信氏に交代したのに伴い、同支部と全国石油政治連盟東北支部の事務局が1日付で福島市から仙台市に移転する。事務局長には宮城石商・協専務理事の阿部廣之氏（写真）が就任する。

阿部氏は宮城県女川町出身。青山学院大理工学部卒。NEC勤務などを経て2012年10月に宮城石商・協職員となり、事務局長を経て16年5月から専務理事。56歳。

支部事務局の連絡先は、〒980－0802 仙台市青葉区二日町12－6、宮城県石油会館2階 電話＝022(265)1503。FAX＝(264)1072。

23日朝、室蘭から宮古港に到着した第1便

宮古～室蘭間定期便

岩手初のカーフェリー就航！

岩手県宮古市と北海道室蘭市を結ぶ岩手県初の定期カーフェリー（7005トン）が6月22日、就航した。23日午前6時には室蘭港に到着し、大勢の市民が埠頭に集まり歓迎した。

就航したのは、川崎近海汽船のシルバークイーン。乗用車20台とトラック69台を積載できる。1日1往復する。同社の年間利用目標は旅客1万7千人、トラック1万8千台、乗用車8800台。

岩手県では初の定期カーフェリー就航による経済効果に期待が大きい。県内では宮城県と八戸市を結ぶ路線や宮古市と盛岡市を結ぶ路線など無料の高速道路「復興道路」の建設が進んでおり、フェリーとの相乗効果で宮古市を中心にした三陸沿岸観光の進展に期待が高まっている。

関東

関東支局　（千代田区永田町2-17-14 石油会館）
０３（３５９３）５７５７

埼玉ニューウェーヴ21 総会・講演会開催

埼玉石商の若手経営者や所長などで構成する埼玉ニューウェーヴ21（斎藤英昭会長）はこのほど、さいたま市内で総会・講演会（写真）を開催し、今年度の事業計画などを承認した。その後、イービストレードの松本裕逸ＡＵＴＯサービス事業部長が講演し、トヨタ自動車がＥＶではなく燃料電池車（ＦＣＶ）を主軸に開発していることや自動運転車の普及見通しなどを語った。

トヨタの本命はＦＣＶ

先進技術に合わせ事業検討も

松本氏はトヨタ関係者から聞いた話として、「トヨタの本命はＥＶではなくＦＣＶだ。開発を急ピッチで進めていて、2020年の量産を目指して行きの不透明感も指摘した。東京五輪・パラリンピックに照準を合わせており、「大会関係者の移動手段はＦＣＶ」と意気込む東京都の小池百合子知事の発言とも符合する。とはいえ、松本氏は「市場が受け入れるか。インフラ整備は間に合うのか」と先を充電するのに、4人家族が1日生活するのに必要な電力を消費する。リーフ1千万台を一斉に充電したら、いまの電力ではもたない。仮に大量発電を実現しても、送電量が増えると電線・ケーブルを太くしたり、鉄塔を建て替えたりする必要があり、それに10年はかかる」と説明した。

ＥＶシフトについて、松本氏は「近い将来に拡大することはないが、30～50年後は確実にＥＶの時代が来る」と断言し、電力会社の元社員から聞いたイメージを紹介。「リーフ（日産自動車のＥＶ）1台を充電するのに、4人分の量の電力を消費する。リーフ1千万台を一斉に充電したら、いまの電力ではもたない。仮に大量発電を実現しても、送電量が増えると電線・ケーブルを太くしたり、鉄塔を建て替えたりする必要があり、それに10年はかかる」と説明した。

メーカー各社が開発を急いでいる自動ブレーキなどの運転支援システムについて、松本氏は乗車体験を基に報告した。「スバルの『アイサイト』は高速道路で一定速度・車間距離を保ち走行する機能に優れているが、フロントに取り付けられたカメラで情報を検知しているため、霧などの悪天候に弱い」と解説。一方、「レーダーで情報を検知するトヨタの『トヨタセーフティセンス』は天候に左右されないが、車間距離が長く車が割り込むと急ブレーキがかかる」と語った。

国土交通省は自動ブレーキなどの先進技術を車検の確認項目に新たに加え、21年の新型車から対象とする方針だ。松本氏は「自動ブレーキは数年で浸透し、25年には自動運転が可能となるだろう」と予想した。そのうえで、自動ブレーキなどの先進技術がすべての車種に搭載されると「追突や接触事故は激減する」と強調。これに伴い、「鈑金塗装の需要に影響が出る。関係者は事業の見直しを検討した方がいい」とアドバイスした。

茨城石商 日立支部『満タン運動』推進へ

茨城石商日立支部（宮内博支部長）は先ごろ、2018年度定時総会を日立市内で開き、『満タン＆灯油プラス1缶運動』やＳＳ生産性向上対策の推進などを盛り込んだ事業計画案などを承認した。

今年は支部創設60周年に当たるため、委員会を立ち上げ記念事業も検討するという。

宮内支部長（写真）はあいさつで、日立市大みか地区に20年に完成予定の「南部地区消防署」に言及し、「（消防署内）の地下タンクに入れる油種や量は7月ごろに明らかになる」と説明。

また、日立市に隣接する那珂郡東海村に関東の各石油政治連盟の2018年度総会が先ごろ開催され、税制改正や予算獲得などで引き続き政治の力が必要との認識を確認した。各県の油政連会長の発言を紹介する。

■新潟・早山康之会長　いま、元売は未曾有の利益を上げている。石油販売業界もしっかりマージンを取れるマーケットにしなくてはならない。そのためにも、油政連活動は重要。観光振興などにより、新潟県を活性化させる必要もある。

■長野・曽根原幹二会長　この時期は二十四節気の1つ芒種（ぼうしゅ）で、米や麦などの種をまいたり苗を植え付けるのに適している。そんな時に石油3団体の総代会を開催でき、石油業界の未来に向けた種まきになればと願う。今後、住民拠点ＳＳの整備などで協力してほしい。万が一、災害が発生しても地域に貢献できる団体を目指したい。

早山会長

曽根原会長

各県油政連総会
政治力でＳＳ活性化

岡田会長

■群馬・岡田昌之会長　クレジットカードのＩＣ化に伴うＰＯＳの切り替えは、国の補助金を活用しながら対応できる体制を整えたい。コストコＳＳはいまのところ県内にはないが、自民党の石油流通問題議員連盟（野田毅会長）で課題として理解を得ている。今年は一歩前進することを期待している。

堀内会長

■神奈川・堀内資公会長　2017年度補正、18年度当初予算で業界として大きな予算を獲得することができた。全国の油政連と連携し、災害時の石油製品の安定供給に備え、官公需受注拡大への支援などを今後も国に働きかけていく。

神奈川石商 旭瀬谷支部 協力強化し前進

「第一石油販売245日オープンすることなひたちベイＳＳ」が近どを報告した。

神奈川石商旭瀬谷支部（露木俊光支部長）は先ごろ2018年度総会を開催した。総会では、石油の日チャリティーコンサートや共同事業キャンペーンなど組合事業に積極的に参加することを掲げた。

神奈川石商 小田原支部 再投資可能な業界に

神奈川石商小田原支部（相原孝光支部長）はこのほど小田原市内で会合を開き、2018年度の活動方針など全提出議案を承認した。また今年のスローガンに①組合員の力の結束と経営基盤の強化②適正利潤を確保し再投資可能な業界を作る③共同事業など組織を積極的に活用する④官公需適格組合事業の推進⑤災害時対応能力の強化⑥コンプライアンスの順守ーを掲げた。

相原支部長（写真）はあいさつで、「組合員が再投資できるような環境を構築したい」と強調したうえで、「支部活動を通じ従業員の賃金アップやＳＳの地位向上を目指したい。他支部との連携強化も図る」と述べた。

計量機買取

見積無料　全国どこでも出張買取

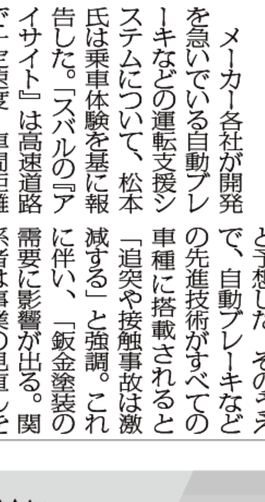
ガソリンスタンドの廃業や計量機の入れ替えで不要になった計量機は、是非当社へお売りください。無料でお見積りいたしますので、お気軽にお問い合わせください。

買取対象製品

- 固定式計量機
- ポータブル計量機
- 釣銭機
- コンプレッサー
- ノンスペース計量機
- ミニローリー
- カードリーダー
- バキュームクリーナー　他

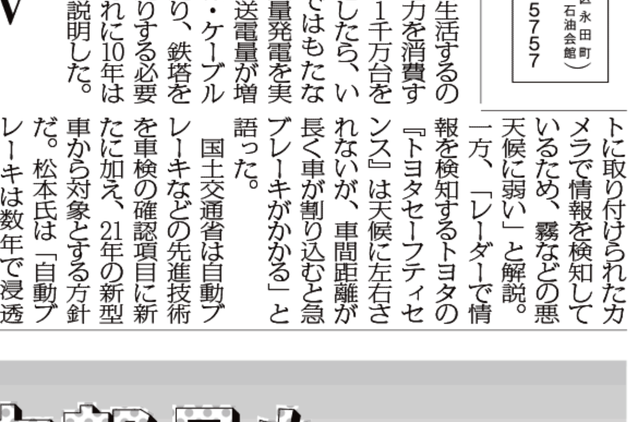
中古部品もお任せ下さい。

計量機の中古部品を取り扱っております。古い計量機の部品が手に入らずお困りの際は、部品の不足で計量機を買い替える前に、是非当社へご相談ください。



取扱中古部品

・ノズル　・スイベル　・安全弁
・ディスプレイ　・ポンプ　・基盤
・モーター
その他様々な中古部品を取り扱っております



日本スタンドサービスは計量機や部品のエコリユース活動により、お客様の給油所運営に貢献いたします。

当社は、計量機検定／修理・地下タンク漏えい検査・地下タンク老朽化対策工事・各種施工等、充実のサービスで給油所運営をサポートいたします。

無料お見積り・お問い合わせは
0120-016-889

◆ホームページ　http://www.nssk.co.jp/
◆楽天市場店　http://www.rakuten.co.jp/auc-nssk/
日本スタンドサービス　検索

◆自社計量機販売　◆給油機器販売　◆計量機検定　◆計量機修理
◆中古計量機買取・販売　◆中古部品販売　◆地下タンク漏えい検査
◆移動タンク漏えい検査　◆高精度油面計　◆電気防食システム工事
◆給油所新設工事　◆給油所廃止工事　他　お気軽にご相談ください。

日本スタンドサービス株式会社
大阪本社　〒578-0911 大阪府東大阪市中新開2丁目11-17
TEL.072-968-2211　FAX.072-968-3900
東京営業所　〒152-0003 東京都目黒区碑文谷2丁目21-6
TEL.03-5721-4789　FAX.03-5721-4787

近畿
近畿支局　（大阪市北区南扇町1-19 サウスポレストビル5階）
06（6362）2917

夏商戦に募る不安

量販再燃 買い控え 試される〝姿勢〟

数百㍍も離れていないが、地場ＳＳ㊤とＰＢ㊦の価格差が拡大している地域もある（奈良県桜井市）

夏期商戦に暗雲が漂っている。原油価格高騰の影響を受けてガソリンの販売価格が急上昇しており、減販の深刻化を恐れる声は根強い。また、地域によっては量販を指向するＰＢＳＳと地場ＳＳ業者の販売価格差が拡大しているところも散見される。元売再編による需給改善で安定化し始めた市場環境にとって、今夏は正念場になりそうだ。

原油価格動向の影響を受けて、畿内でＳＳのガソリン店頭価格はﾚｯﾄﾙ140円台半ばから150円台で推移している。繁忙期を迎える中、各地の地場ＳＳ業者からは、原油高による需要減を懸念する声は根強く、畿内の特約店社長は「燃料油よりも油外獲得に力を入れている」と販売施策の見直しを進めているところは少なくない。

一部でコストコのような量販ＰＢは依然として130円台を掲示し続けている。ＰＢによるＳＳ新設が進んでいる地域もあり、周辺の元売販社などを巻き込んだ価格競争勃発を不安視する声も根強い。今後、採算路線を堅持する地場ＳＳとの価格差がより一層拡大する可能性もあり、販売店社長は「いまでも10円以上の差がある。もっと拡大すると掛売りにも悪影響が出てくるのでは」と懸念する。

一方で、「原油価格に一喜一憂しない方がいい。せっかく燃料油である程度の利益が取れるようになってきているのに、ここで安値追随すれば、ひと昔前みたいなことになってしまう」と採算確保の大切さを強調する。

6～7月分軽油 中川物産が落札
伊丹市交通局

伊丹市交通局がこの程ど実施した市営バス向け軽油（6～7月分480㌔ﾘｯﾄﾙ、消費税は除く）の落札結果によると、ﾘｯﾄﾙ100・4円で中川物産（名古屋市）が落札した。

今回の予定価格はﾘｯﾄﾙ101・3円であり、伊丹産業や上原成商事など、ほかの参加業者はいずれも入札金額が予定価格を上回ったため、軒並み無効となった。また、元売販社で唯一参加したキグナス興産は辞退した。

滋賀 湖南広域消防へ災害協定で陳情

滋賀石商（尾賀康裕理事長）と滋賀県石油政治連盟（竹村健会長）は先ごろ、湖南広域消防局を訪問し、災害協定について地場ＳＳへの配慮を訴えた。

同消防局は災害時に備えた燃料供給協定について、締結ＳＳを独自に選定した。

同石商側は、①県とは2015年12月に「災害時の燃料の供給および帰宅者支援に関する協定書」を締結しており、個別に広域消防局が防災協定を結ぶと二重基準が発生し、有事の際に混乱する恐れがある②ＳＳの許認可を掌る消防局が個別に締結することは公平性を担保するうえで疑念が残る－などと問題点を指摘。

尾賀理事長は「組合に相談していただければ精査し、大型の消防車両が入れるほどのＳＳを選定する」と述べた。今後、消防局とは協定の内容精査について協議していく。

消防局に陳情した滋賀（写真右が尾賀理事長）

ステージ2SS認定制度 環境省が総会で説明
近畿支部

全石連近畿支部が先ごろ開催した通常総会では環境省が出席し、大気環境配慮型ＳＳ認定制度（ＶＯＣ回収装置を設置したＳＳの認定制度）について説明した。

環境省は現在、同様の説明会を、全国各地の全石連支部総会開催時に合わせて実施しており、制度への理解促進を求めている。

制度は、環境省と資源エネルギー庁がガソリン給油時に発生する揮発性有機化合物（ＶＯＣ）の回収装置（ステージ2）を設置したＳＳ認定制度で、認定を受けると認定証やロゴマークの交付だけでなく、店舗名や住所、認定ランクを環境省とエネ庁のホームページで公表する予定となっている。

「今後はステージ2の回収性能を測定し、夏ごろを目途に認定を開始する予定だ」との見通しを示した。

近畿2府4県石油製品販売実績（４月）

（単位：千㌔ﾘｯﾄﾙ、カッコ内は前年比）

	滋賀	京都	大阪
ガソリン	48(▲0.9%)	57(▲1%)	189(▲4.0%)
灯油	5(▲21%)	3(▲25%)	17(▲14%)
軽油	30(7%)	29(0.2%)	156(10%)
重油計	4(▲23%)	8(▲18%)	54(▲12%)
	兵庫	奈良	和歌山
ガソリン	134(▲0.4%)	36(▲2%)	26(▲6%)
灯油	15(▲3%)	2(▲13%)	3(▲31%)
軽油	95(0.6%)	14(6%)	14(5%)
重油計	34(▲22%)	2(7%)	7(▲13%)

注1）速報値であるため、後日数値の変更があり得る。
注2）重油計はＡ重油とＣ重油の合計値

軽油増販もG前年割れ
4月・販売実績　近畿経産局

近畿経済産業局がこのほど発表した4月の管内石油製品販売量によると、ガソリンは2府4県いずれも前年割れとなった。減少幅の大きい順で和歌山が6％減の2・6万㌔ﾘｯﾄﾙ、大阪が4％減の18・9万㌔ﾘｯﾄﾙ、奈良は2％減の3・6万㌔ﾘｯﾄﾙ、京都は1％減の5・7万㌔ﾘｯﾄﾙ、滋賀は0・9％減の4・8万㌔ﾘｯﾄﾙ、兵庫は0・4％減の13・4万㌔ﾘｯﾄﾙと並ぶ。

灯油はガソリンと同じ傾向で滋賀は21％減、京都は25％減、大阪は14％減、兵庫は3％減、奈良は13％減、和歌山は31％減と、気温高の影響が出ている。

軽油は2府4県とも増販し、滋賀は7％増、京都は0・2％増、大阪は10％増、兵庫は0・6％増、奈良は6％増、和歌山は5％増となった。

重油計は奈良のみ7％増で、ほかは不調となった。京都と兵庫はＡ重油とＣ重油がともに前年割れとなっており、苦戦している様子がうかがえる。

近畿経産局 規模事業者対策を行う。
近畿経済産業局はこのほど、「平成30年大阪府北部を震源とする震災で、大阪府大阪市、豊中市、吹田市、高槻市、守口市、枚方市、茨木市、寝屋川市、箕面市、摂津市、四条畷市、交野市、三島郡島本町に災害救助法が適用されたことを踏まえ、被災した中小企業や小規模事業者に前年割れした大阪府北部に発生した大阪府北部を震源とする震災で、地震に係る災害に関する特別相談窓口」を設置した。

先月18日

連絡先は産業部中小企業課（電話＝06－6966－6024）まで。

大阪北部地震 相談窓口を設置

トレンドファイル

ZENSEKI

ブリヂストン

プレミアムスポーツタイヤ 「ポテンザS007A」発売

ブリヂストンはプレミアムスポーツタイヤ「ポテンザS007A」を1日から発売した（写真）。「ポテンザS001」の後継商品で、ドライ性能を向上させるとともに、ウエット性能やコンフォート性能も追求。専用コンパウンドを採用し、ドライ路面でのハンドリング性能を高めた。トレッドショルダー部形状の最適化を図り、接地圧を均等にすることで偏摩耗も防いでいる。16～21㌅の合わせて80サイズを用意。日本に続き、北米やアジア各国でも順次、発売していく。

エムケー精工に最優秀賞
子育て支援取り組みで評価

洗車・整備機器製造のエムケー精工（丸山成一社長）はこのほど、将一社長）はこのほど、子育て支援などに力を入れる企業を表彰する「2018年度将来世代応援企業表彰」（主催＝日本創生のための将来世代応援知事同盟）の最優秀賞を受賞した。

この表彰は、将来を担う若い世代が地方で安心して働き、結婚や出産、子育てが行える社会を実現するため、計14県の若手知事で結成した組織によるもので、14年から「子育て応援企業表彰」として始まり、16年に「将来世代応援企業表彰」に名前を変えた。第5回となる今回は、各県推薦の13社中、1社に最優秀賞、2社に優秀賞が贈られた。

同社は現表彰名になった16年以降、長野県推薦企業として初めて最優秀賞を受賞。雇用型・非雇用型在宅勤務制度などの独自の取り組みが充実し、従業員のライフステージを踏まえた制度を多く持つ点などが評価された。

丸山社長（右）と阿部守一長野県知事

大阪に初の商用ＬＮＧスタンド

タツノ製充填機を採用

商用目的としては国内初となるＬＮＧスタンド「エネフリ南港天然ガススタンド」（大阪市住之江区）がこのほどオープンした。同スタンドにはタツノの「ＬＮＧディスペンサー」が設置（写真）され、環境省の「大型ＬＮＧトラックおよび最適燃料充填インフラの開発・実証事業」として、東京・大阪間の高速走行などの営業走行試験が実施される。

ＬＮＧは、マイナス160度まで冷却し液化した天然ガスで、体積は気体の600分の1となるため、トラックの1000㌔ﾒｰﾄﾙ以上の長距離運行を可能にしたほか、ディーゼル車より約10％CO_2の排出が削減されるなど環境面への貢献も期待されている。

また、ＣＮＧ車と比較して充填時間が圧倒的に短く、ディーゼル車への給油並みの時間で充填が可能なほか、充填時の急激な圧力上昇を防ぐ「事前冷却機能」を採用し、事前に充填ノズルや配管を冷却することで安定した充填を可能とした。

さらに、商用ディスペンサーとしてＳＳと同様のＰＯＳシステムでの運用が可能となっている。

東洋ゴム工業

最適な空力特性実現へ 模擬実験技術を確立

東洋ゴム工業は先ごろ、空力を高精度にシミュレーションする「モビリティ・エアロダイナミクス技術」を確立したと発表した。空力特性は、低燃費化やＥＶの航続距離を左右する。同社は、同技術を活用することで、車両に適した理想的な空力特性を持ったタイヤ開発につなげる。

トレッドパターンなどタイヤの複雑な形状をもとに、実際の車両やホイールと組み合わせ、その荷重や走行速度、走行の姿勢角によるタイヤの接地変形までを考慮して空力特性をシミュレーションできる技術を確立した。これにより車両に求められる空力特性を実現できるような最適なタイヤの提案ができる。

タイヤは、常に荷重を支えながら変形、回転している。そのタイヤ周辺で生じる空気の流れは車両の空力特性に直接的な影響を及ぼすＳ（国際会計基準）適用企業は12社。

それによると、日本基準適用63社の売上高は前期比6・4％増の15兆447億円、営業利益は10・6％増の9685億円、経常利益は13・2％増の1兆4502億円、当期純利益は32436社のうち、上場企業で自動車部品の売上高比率が50％以上、かつ前年同期比較が可能な自動車部品専門企業75社の2017年度通期の経営動向を、各社の連結決算短信より集計・分析した（連結決算を行っていない企業は単独決算）。なお、75社のうち日本基準適用企業は63社、ＩＦＲＳ適用12社の売上高は11・1％増の12兆845億円、営業利益は21・1％増の8752億円、税引前利益は20・9％増の9140億円、当期純利益は21・9％増の5665億円と、ともに増収増益決算となった。

背景となる経済情勢のうち自動車市場については、世界全体では成長が継続したものの、16年に過去最高販売を記録した米国が09年以来の減少に転じるなど伸びは総じて鈍化した。一方、国内新車販売は軽自動車を中心に新型車が好調で、2年連続の増加となった。

17年度75社通期経営動向 全般的に増収増益
部工会

14日から子ども向け企画展開催
トヨタ博物館

トヨタ自動車博物館（愛知県長久手市）は、14日から9月30日まで「トハク　夏フェス！2018」を開く。館全体を自動車文化体験の場に仕立て、夏らしいオープンカーや、子どもに人気の働く車を展示する。燃料電池教室や、生きた虫を観察し図鑑を作るコーナーを設ける。14日から9月2日は小学生の入館料を無料にする。

SS関連業界

カーライフ